

阿波男子2年ぶり栄冠

女子は生光学園4年連続

柔道

全国高校選手権県予選

柔道の全国高校選手権

徳島県予選を兼ねた第44

回県高校選手権最終日は

21日、徳島市の県立中央

武道館で男女各3校によ

る団体戦が行われた。男

子は阿波が2年ぶり26度

目の栄冠に輝き、女子は

生光学園が4年連続6度

目の優勝を飾った。両校

は全国選手権(来年3月

20、21日・日本武道館)

に出場する。

【男子】1回戦 鳴門渦潮(4

人残) 徳島科校

▽決勝

阿波 1人残 鳴門渦潮

明石 引き分け 田刈

秋葉 優勢 佐野

○長 瀬 腕ひし

○長 瀬 一本背

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

○長 瀬 引き分け

先鋒が流れ呼ぶ

○：女子決勝は生光学

園の先鋒(せんぽう)金

山(写真)

山が優勢

で勝って

流れを呼

び込む

と、1年生コンビの木村

と牛方が一本勝ちで続

き、相手に付け入る隙を

与えなかった。

生光学園3-0 徳島北

○金山 優勢 矢野

○木村 大内刈 中野

○年方 合わせ 香川



山が優勢で勝って流れを呼び込む

金山は後ろに下がる相手から足技で技ありを奪って試合を優位に進めたものの「入念に練習した内股で投げたかった。最後まで押し切れなかった」と反省しきり。大内刈りで倒した中堅木村は「自然と技が出た」。大将牛方も合わせ技で快勝し「得意の大外刈りが決まった」と満足そうだった。部員は1、2年生で計9人。全国大会に向け切磋琢磨(せつさくま)しながらレベルアップを図る。佐藤主将は「全員が一本を取る柔道を目指す」と意気込んだ。